

「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」展がオープンしました。

4月8日午後から開会式が行われました。幸い快晴にも恵まれ、多くの方にお集まりいただきました。展覧会で取り上げた作家のご遺族の方も数名来館され、和やかな雰囲気でした。河童のお化けは茶目っ気があって面白そうというご意見もいただきました。



△開会式の様子

今回は、「珊瑚会」の活動の一端を取り上げていて、大正期の新しい感覚の日本画が見られます。また、木村定三コレクションの芋銭作品を全公開しますのでぜひ御覧下さい。会期中大幅な展示替えがありますので、前期・後期と2度御覧いただくことをおすすめします。

また、記念講演会も開催されます。

4月24日（土）午後1時半から、京都国立近代美術館長 尾崎正明氏が「大正期日本画の動向 小川芋銭を中心に」と題して講演されます。申し込み不要ですので皆様ふるってご参加下さい。

(HK)